

株主のみなさまへ

第101期 年度報告書

2025年4月1日 ▶
2026年3月31日

日本ゼオン株式会社

証券コード 4205



TOP MESSAGE

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2025年度決算は、エラストマー素材において原料価格下落に伴う販売価格改定の影響があった一方で、大型テレビ向け光学フィルムや電池材料の販売が好調に推移しました。さらに、全社的な固定費削減も進んだことから、結果として前期比で減収増益となりました。

2026年度は、ホルムズ海峡の事実上の封鎖に伴い、調達・生産・出荷の各面への影響が見通せない状況です。固定費悪化を含むコスト増に対応した価格改定や製品在庫の削減を進めるとともに、収益性の改善や事業構造改革の推進にも一層注力し、この難局を乗り切りたいと考えております。

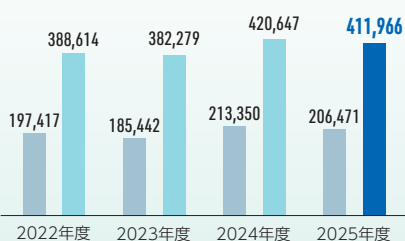
引き続きのご理解とご支援を何卒よろしくお願いいたします。



代表取締役社長兼CEO
豊嶋 哲也

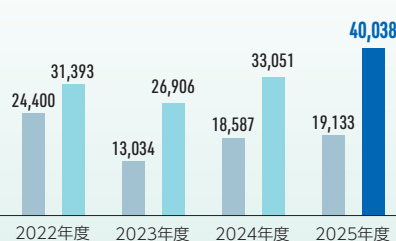
売上高 (単位: 百万円)

■ 中間期 ■ 通期



経常利益 (単位: 百万円)

■ 中間期 ■ 通期



親会社株主に帰属する 当期純利益 (単位: 百万円)

■ 中間期 ■ 通期



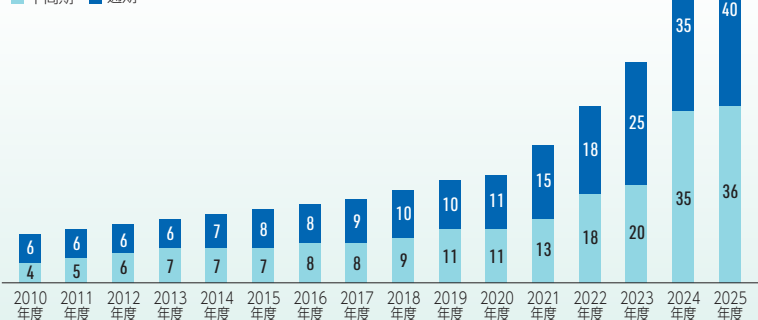
株主還元

期末配当金は1株当たり40円とさせていただきました。年間配当金金額は1株当たり76円(自己資本配当率(DOE)4.0%)となり、前年度比6円の増配、かつ16年連続の増配となります。2026年度も連続増配の維持を見込んでおります。

また、2024~2026年度における総額400億円の自己株式取得計画については、既に300億円を実施済みです。2026年度においても、時期を十分に精査のうえで実施予定としております。

1株当たりの配当金 (単位: 円)

■ 中間期 ■ 通期



事業別概要

会社基盤を支える事業

エラストマー素材事業部門

■ 合成ゴム ■ 合成ラテックス ■ 化成品

売上高

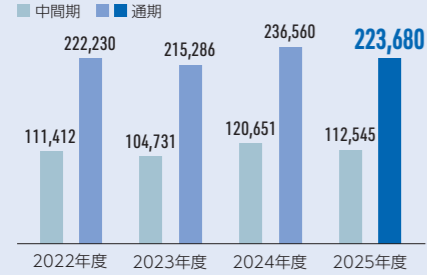
2,236億80百万円

(前期比)

5.4% ↓

売上高
構成比
54.2%

売上高の推移 (単位: 百万円)



概要

■ 合成ゴム

期を通じての海外市場の需要低迷、また、期末の高騰以前における原料価格の下落基調に応じた販売価格下落の影響により、売上高、営業利益ともに前期を下回りました。

■ 合成ラテックス

医療・衛生用手袋市場における需給緩和が継続したことから、売上高は前期を下回りましたが、販売費及び一般管理費の削減等により、営業利益は前期を上回りました。

■ 化成品

海外を中心に粘着テープ・ラベル向け需要が低迷したことなどから、売上高は前期を下回りましたが、原料価格の下落や販売費及び一般管理費の削減等により、営業利益は前期を上回りました。

当事業部門全体の売上高は2,236億80百万円（前期比5.4%減）、営業利益は116億65百万円（同6.7%増）となりました。

新規展開を中心とする事業

高機能材料事業部門

■ 高機能樹脂 ■ 電池材料 ■ 化学品 ■ 電子材料・トナー ほか

売上高

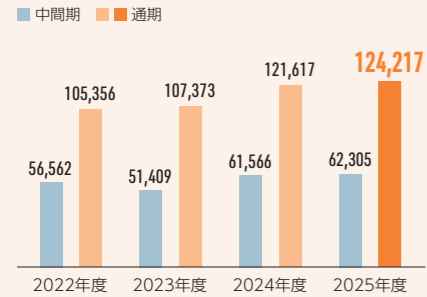
1,242億17百万円

(前期比)

2.1% ↑

売上高
構成比
30.2%

売上高の推移 (単位: 百万円)



概要

■ 高機能樹脂

シクロオレフィンポリマーの光学レンズ用途向け需要が低迷し、医療その他向けでも一部顧客の在庫調整等の影響を受けましたが、大型テレビ向け光学フィルムの需要が堅調に推移したことにより、高機能樹脂関連全体では売上高、営業利益ともに前期を上回りました。

■ 電池材料

中国政府の補助金政策を背景に同国内におけるESS（電力貯蔵システム）・車載・民生向けの需要が堅調に推移し、欧州、米国においてもAIデータセンター向けをはじめESS用電池の需要が大幅に増加したことから、売上高、営業利益ともに前期を上回りました。

■ 化学品

半導体業界の旺盛な需要を受け、特殊溶剤の販売が堅調に推移しました。一方、合成香料は市場における競争環境が厳しくなっている影響を受け販売が振るわず、化学品全体としては売上高、営業利益ともに前期を下回りました。

■ 電子材料

半導体市場における活発なAI関連投資を背景に需要が旺盛となり、さらにディスプレイ市場の堅調な需要も加わったことから、売上高、営業利益ともに前期を上回りました。

■ トナー

プリンター本体およびアフターマーケット市場の需要が一時的な調整局面にあり、売上高は前期を下回りましたが、原料価格の下落や棚卸資産関連費用の減少等により、営業利益は前期を上回りました。

当事業部門全体の売上高は1,242億17百万円（前期比2.1%増）、営業利益は224億21百万円（同27.7%増）となりました。

その他の事業部門

■ RIM配合液 ■ 塗料ほか

売上高

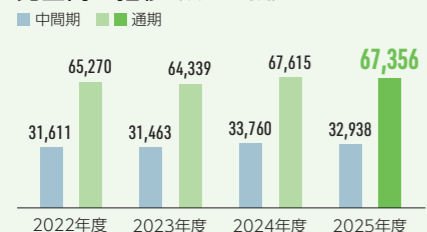
673億56百万円

(前期比)

0.4% ↓

売上高
構成比
16.4%

売上高の推移 (単位: 百万円)



RIM配合液等の売上高が前期を下回った結果、全体の売上高は673億56百万円（前期比0.4%減）、営業利益は42億90百万円（同11.0%増）となりました。

TOPICS

TOPIC
01

単層カーボンナノチューブの増産を決定

徳山工場において生産する単層カーボンナノチューブ(SWCNT)の増産を決定しました。今回の増産により生産能力は現行比数十倍に拡大する見込みで、主にリチウムイオン電池向けに需要が拡大するSWCNT市場におけるゼオンのプレゼンス向上、また、安定供給体制の強化を図ります。2028年中の本格稼働開始を目指しており、中期経営計画「STAGE30」において次期成長ドライバと位置付けるSWCNTのさらなる用途展開加速の礎となることが期待されます。

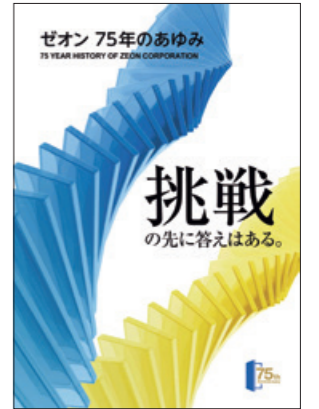


徳山工場内SWCNTプラント

TOPIC
02

社史『ゼオン75年のあゆみ』を発刊

2025年4月に創立75年を迎えたことを記念し、社史『ゼオン75年のあゆみ』を発刊しました。本史となる「沿革」編では創業からの50年史と近25年史に分けて、当時の出来事や経営判断を紹介し、「テーマ史」編では現在のゼオンを支える事業の生い立ちや、生産革新や改善活動をはじめとする現場での各種取り組みなどを解説しています。また、自主保安認定取り消しや独占禁止法違反疑惑など反省すべき過去の教訓についても触れ、改めてコンプライアンス遵守を伝える内容になっています。



WEB版 (https://www.zeon.co.jp/company/profile/zeon75th/index_h5.html)

株式の状況 (2026年3月31日現在)

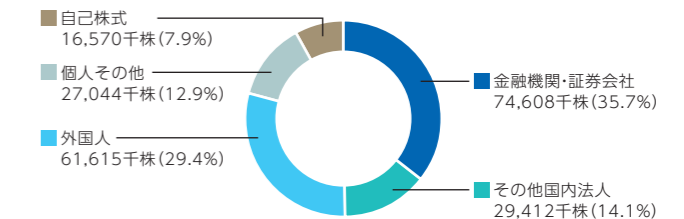
発行可能株式総数 800,000,000株
発行済株式の総数 209,251,256株
株主数 48,772名(前年度末比25,936名増)

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	21,564	11.19
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	11,824	6.14
株式会社みずほ銀行	8,370	4.34
朝日生命保険相互会社	7,679	3.99
全国共済農業協同組合連合会	4,765	2.47
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	4,690	2.43
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	4,380	2.27
日本ゼオン取引先持株会	4,195	2.18
農林中央金庫	3,680	1.91
日本ゼオン従業員持株会	3,561	1.85

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式16,570千株を保有しておりますが、上記の表には記載していません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日 3月31日および中間配当を行うときは9月30日
基準日 毎年3月31日
(その他臨時に必要があるときは、あらかじめ公告します。)
公告方法 <https://www.zeon.co.jp/>
(ただし電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。)
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-8507)
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063)
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。



各WEBコンテンツのご案内

日本ゼオンのIR情報や統合報告書等は下記のURLと二次元バーコードからご覧いただけます。



IR情報

最新のIRニュースや個人投資家さま向けコンテンツなどはこちらからご確認ください。

<https://www.zeon.co.jp/ir/> ▶



統合報告書

統合報告書2025を公開しております。

<https://www.zeon.co.jp/ir/library/folder/> ▶



決算説明資料

四半期ごとに開催しているマスコミ・アナリスト向け決算説明会資料を公開しております。

<https://www.zeon.co.jp/ir/financial/bs/> ▶



中期経営計画説明資料

最新および過去の中期経営計画説明資料を公開しております。

<https://www.zeon.co.jp/ir/library/midtermplan/> ▶



期末配当金のお支払いについて

第101期期末配当金につきましては、同封の「期末配当金領収証」によりお受け取りくださいますようお願い申し上げます。

なお、銀行振込をご指定の方には、「配当金計算書」および「お振込先について」を、株式数比例配分方式をご指定の方には、「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしましたので、ご確認ください。

1. 期末配当金 1株につき金40円
2. 取扱期間 2026年6月29日(月)から2026年7月31日(金)まで
3. 銀行振込または株式数比例配分方式をご指定でない方は、同封の「期末配当金領収証」により、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。

なお、お受け取りの際は「期末配当金領収証」裏面記載の注意書きをご覧ください。

日本ゼオン株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-2 (新丸の内センタービル)
〒100-8246 電話 03 (3216) 1772

